

ハスモンヨトウ情報第1号（ダイズ）

平成23年8月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

1 発生状況

フェロモントラップによるハスモンヨトウの7月（第5半旬まで）の誘殺数は、西尾市吉良町で1,269頭（平年344頭）、碧南市で381頭（平年204頭）と平年より多く推移し、台風6号が接近した第4半旬後、誘殺数が急増しています（図1）。また、一部の地域では、白変葉がすでに確認されています。

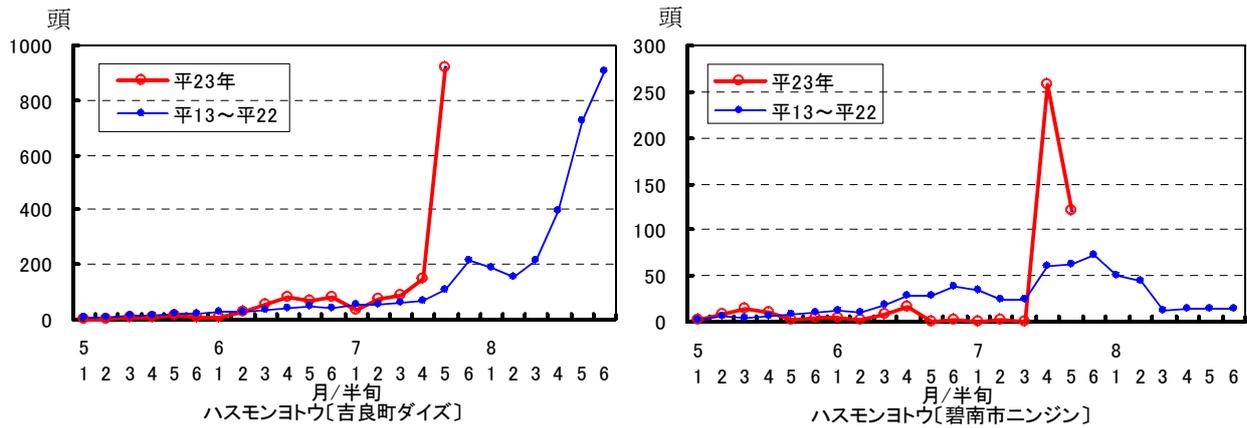


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数

2 今後の状況

気象予報によれば8月は気温が平年並で、降水量は平年並かやや多いと予想されており、ハスモンヨトウの発生に特に好適な条件ではありませんが、例年8月上中旬頃から発生量が急増するため、ほ場での今後の発生動向に注意が必要です。

ほ場での観察をしっかりと行い、白変葉（図2）および幼虫（図3）が見られたら、下表を参考に防除しましょう。



図2 ハスモンヨトウによるダイズの白変葉



図3 ハスモンヨトウの幼虫

表 ハスモンヨトウの主な防除薬剤

作物名	薬剤名
ダイズ	ロムダンフロアブル
	ラービフロアブル
	マッチ乳剤
	トレボンEW
	トルネードフロアブル
	マトリックフロアブル